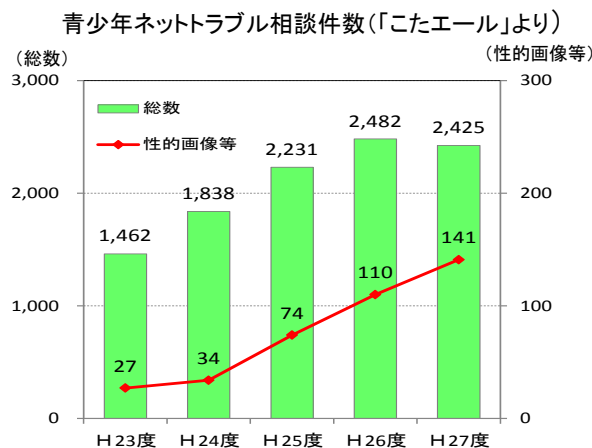


児童ポルノ等被害が深刻化する中での青少年の健全育成について

現 状

スマートフォンの急速な普及やインターネット利用の低年齢化に伴い、

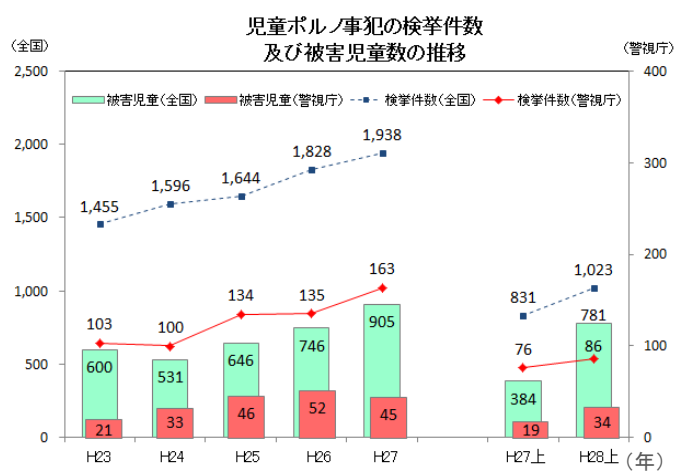
- これらの利用に起因するトラブルについての青少年からの相談が増加傾向
- うち、児童ポルノ等の性的画像等に関する相談は急増
- 中でも、脅されたり、だまされりするなどして、青少年が自分の裸体等をスマートフォン等で撮影させられた上、メール等で送られる被害や、
このような被害に繋がりがねない働きかけを受け、悩み困惑する青少年からの相談が、近年の憂慮すべき特徴



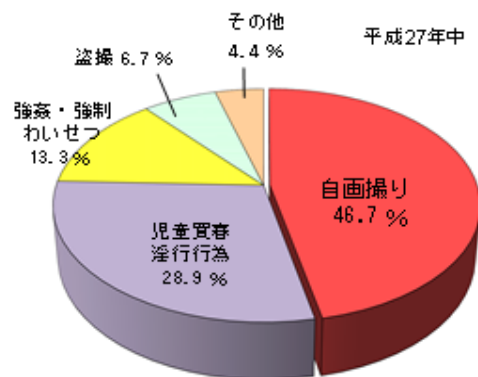
(参考) 児童ポルノ事犯の現状

- 児童ポルノ事犯の検挙件数・人員ともに過去最多であり、年々増加傾向
- 児童ポルノ事犯の被害児童数も増加傾向であり、被害全体の4割前後が「自画撮り被害」(※)

※「自画撮り被害」・・・だましたり、脅したりして青少年に自分の裸体等を撮影させた上、メール等で送らせる形態の被害



児童ポルノ被害の態様別割合(警視庁)



青少年の健全育成上の問題

被害に遭った青少年は、

- 不登校や将来の夢を諦めざるを得ない状況に追い込まれることもある
- 一度インターネット上に流出した画像等は回収が困難で、将来にわたって不安を抱き続けることになる

現行法制度では未然防止の有効な方策がない

⇒普及啓発の充実

悪質な働きかけの条例規制等 を検討